



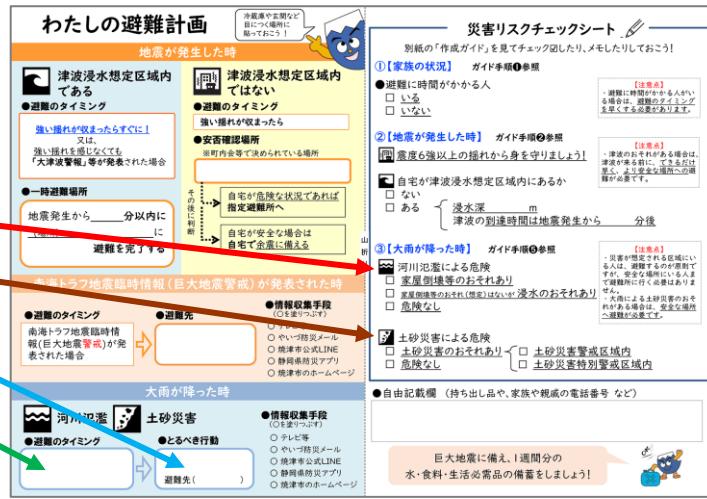
大雨が降った時

洪水ハザードマップと
ガイドブックをご準備ください。



手順⑤ 洪水ハザードマップを使って避難行動を確認しよう!

- ・洪水ハザードマップ ガイドブック10ページに記載した内容を、「わたしの避難計画」に書き写そう!



ガイドブック28ページ、
「わが家の避難行動計画」
を作成してみましょう。



洪水ハザードマップ・ガイド
ブックは、市ホームページで
公開しています。



手順⑥ 避難の情報を知るための手段を決めておこう!

報道機関・情報サイトなど

- ・テレビ・ラジオ
- ・インターネット
- ・ホームページ
- ・スマートフォン向けアプリ

やいづ
防災メール



焼津市
LINE



静岡県
防災アプリ



キキクル
(気象庁)



土砂災害警戒
情報(静岡県)



家族に合わせた備蓄をしよう!

発災後は、物資が届くまでに時間がかかる場合があり、食料品や日用品の確保が難しくなります。

災害に備え、1週間分の水・食料・日用品の準備をしましょう。



避難とは「難」を「避」けること

避難とは、避難所に行くことが全てではありません。今いる場所が安全であれば、そこに留まることができます。
安全な場所であれば、自宅や親戚宅、知人宅、宿泊施設も避難先となります。



発行・問合先

- 静岡県危機管理部危機政策課 054-221-3731（「わたしの避難計画」全般に関すること）
焼津市防災部防災計画課 054-625-0128（地震・津波に関すること）
焼津市建設部河川課 054-626-1118（洪水・土砂災害に関すること）

焼津市 和田第22自治会

わたしの避難計画 作成ガイド



災害に備えて、「どのタイミングで」「どこに」避難するかを前もって整理しましょう。
災害時に自分や家族が「あわてることなく」「安全な場所へ」避難できます。

作り方

手順①～⑥に従って

「わたしの避難計画」へ必要な事項を記入しよう。

⇒作成ガイド1ページ

手順① 家族で避難に時間がかかる人を確認しよう！

地震が発生した時

⇒作成ガイド2ページ

手順② 地震や津波の危険性を確認しよう！

⇒作成ガイド2ページ

手順③ 地震や津波の時の避難先を確認しよう！

南海トラフ地震臨時情報が発表された時

⇒作成ガイド3ページ

手順④ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合の避難先や情報収集手段を確認しよう！

大雨が降った時

⇒作成ガイド4ページ

手順⑤ 洪水ハザードマップを使って避難行動を確認しよう！

手順⑥ 避難の情報を知るための手段を決めておこう！

⇒作成ガイド4ページ

出来上がりの例(見本)

ガイドに沿って
これをつくっていくよ！



わたしの避難計画

地震が発生した時

別紙の「作成ガイド」を見てチェックしたり、メモしたりしておこう！

①【家族の状況】 ガイド手順①参照

●避難に時間がかかる人

いる いる いない

②【地震が発生した時】 ガイド手順②参照

津波浸水想定区域内ではない

●避難のタイミング

強い揺れが止まらなくなったら

又は、

強い揺れを感じなくても

「大津波警報」等が発表された場合

避難開始

●安否確認場所

※町内会等で決められている場所

○○公会堂

●一時避難場所

自宅が危険な状況であれば

指定避難所へ

自宅が安全な場合は

自宅で金庫に備える

●避難完了する

●避難のタイミング

南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)が発表された場合

●避難先

○○小学校

●情報収集手段

○○(お問い合わせ先)

○

